

作・演出：小田健也

作曲・指揮：池辺晋一郎

オペラ 「ゆきの 守唄」



「心におもうことは夢やない」

幕末朝の争いの中瀬戸内の平和な島に響く無垢な少女おもんの生命の詩うた

名古屋オペラ協会 日本オペラシリーズ No.22

作・演出：小田 健也 オペラ 作曲・指揮：池辺晋一郎



日時：2004年12月11日[土] 18:30開演 12日[日] 14:00開演

会場：名古屋市民会館 大ホール

主催：名古屋オペラ協会

協力：ひろしまオペラ推進委員会

後援：愛知県教育委員会

名古屋市教育委員会

助成： 日本芸術文化振興会舞台芸術振興事業

三菱信託芸術文化財団

いま、魂の故郷で



横井園生 ●名古屋オペラ協会会長

私たち名古屋オペラ協会は昭和57年、民族意識の昂揚と、日本人の美しい心情を表現するオペラ創造の団体として、この市民会館大ホールに於いてスタートを切りました。出し物は木下順二氏の民話劇「夕鶴」で、演出は斯界の第一人者小田健也氏を迎えるました。赤い赤い夕焼け空と子供たちの歌うわらべ唄を背景に、つうの美しい言葉と俗っぽい男たちのせりふが夫々の持ち味を生かして抒情の品性を高めていた。またオーケストラの奏でる日本の旋律に支えられ、さようならの歌と共に原郷の空へと消えて行った

つうの悲しみが、私たちを深い感動の世界へと拉し去った。それはまさに日本オペラの幕明けであり、オペラ協会の旗揚げにふさわしい旅立ちであった。いま22年の風雪を乗り越えてあの夕鶴の演出家小田健也氏が自作品の「じゅごんの子守唄」を引っさげて、再びつうの魂の故郷とも言うべきこの市民会館大ホールの舞台へ戻ってまいりました。氏とオペラ協会が久々に四つに組んだ舞台にこの度の聴衆がどのような感動と反応を示すか、私は興奮と期待をもって視めている。

ごあいさつ



伊藤晶子 ●名古屋オペラ協会運営委員長

本日はお忙しい中、私ども名古屋オペラ協会公演にお越しくださいまして誠にありがとうございます。

本公演として日本オペラの公演を続けて22年目になりますが、今回は第1回旗揚げ公演で「夕鶴」の演出を手掛けていただいた小田健也先生の作品「じゅごんの子守唄」を取り上げさせていただきました。

「夕鶴」での小田先生との出会いは大きな意味を持つものがありました。“演技”とは何か?その基本精神“心の演技”を教えていただいた事が今の名古屋オペラ協会を支えていると言っても過言ではありません。それは私にとっても、今尚、心に深く刻まれて指導の基本となっております。この「じゅごんの子守唄」はまさしく、その“心”が生んだ名作と言えましょう。

この作品はもともと名古屋の劇団うりんこの為に作られた演劇作品で、その公演は多くの観客の感動を呼び、その後、小田先生の最も信頼を寄せておられる池辺晋一郎先生の作曲によりオペラ化されました。初演・再演は広島オペラ推進委員会によって行われましたが、私はその再演を拝見して、いつか名古屋オペラ協会でも取り上げさせていただきたいと心に決

めてまいりました。昨年、研修生の授業で「夕鶴」を取り上げ、小田先生にご指導をお願いした際にこの話をさせていただいたところ、名古屋で生まれた演劇作品が今度はオペラという新しい形で名古屋に戻ってくることを喜んでくださいました。そして、作曲の池辺晋一郎先生も御自ら指揮をお引き受けいただき、また、小田先生のご尽力によって、一流のスタッフの方々が集まってきた事で、私どもにとりまして最高のスタートとなりました。

このオペラに描かれた「こどもたちの純真な心と大人たちの争い」は、今の世界情勢の中で大きな意味を持つメッセージでもあります。キャストも常に感動しながらの練習を重ねてまいりました。眼を輝かせて取り組んでいる姿に、22年前の自分を重ね合わせ、また、委員長の職をお引き受けして最初の大きな舞台に、期待で胸を膨らませるとともに緊張の面持ちで練習に立ち会ってまいりました。

本日、皆様と感動を分かち合えることが出来ましたら幸いでございます。そして、今後とも私ども名古屋オペラ協会にご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。

●スタッフ

指揮——池辺晋一郎

演出——小田健也

振付——関山三喜夫

装置——岡島茂夫

内山千吉

照明——石原福雄

衣裳——中矢恵子

音響——四方あさお

演出助手——藪内馨

スライド画/宣伝美術——楚勉

舞台監督——幾島道宣

副指揮——山上純司

倉知竜也

合唱指導——永友博信

稽古ピアノ——西尾由希

江上敦子

早瀬洋子

演出助手班——是竹久実

鈴木香里

柳島咲子

寺西里子

照明助手——花植厚美

衣裳助手——志賀典子

かつら——斎藤三郎(丸善かつら)

マーク——真津田美紗子

大道具——CSS総合舞台

制作——佐久間孝三

制作助手——米浜光代

制作協力——蒔村由美子(ユー企画)

統括——伊藤晶子



グランフォニック

1994年5月15日、東海地区在住の東西四大学(早稲田、慶應、同志社、関西学院)のグリークラブOBが中心となって結成された男声合唱団。その後、四大学以外のOBも大勢加わり現在は約50名の団員で活動中。「より高度な水準の男声合唱を目指す」、「創作・編曲に限らずオリジナル作品を必ず発表する」、「ドイツ語(または他の外国語も含めて)の曲をキチンと歌う」という団のコンセプトの下、2005年5月15日の第6回定期演奏会(名古屋市民会館中ホール)と2005年5月29日の初めての東京演奏会(中央区立中央会館)に向けての厳しい練習を重ねております。(ホームページ <http://www.granphonic.com>)



小牧市交響楽団

小牧市交響楽団は、2000年2月、小牧市に本拠を置き、広く中部圏の「音楽芸術文化向上」を目指し、本格的なプロオーケストラとして設立された。2001年8月、NPO法人(特定非営利活動法人)として全国初の認証を受け、現在活発な活動を続けている。運営は、小牧市及び地元財界企業、そして多くの中部圏の音楽ファンの方々により支えられており、フレッシュオーケストラとして好評を博す。演奏者は、小牧市在住の元名フィル奏者の佐藤宏氏を音楽総監督とし、公開オーディションにより全国から結集した優秀なアーティストとともに、わが国が世界に誇る名指揮者・秋山和慶氏を名誉主席指揮者として迎え、演奏レベルの高さは創立記念コンサート、定期演奏会等、いずれも絶賛を博し、既存の一流オーケストラにひけをとらぬとの評価を得る。現在、さらに若手・中堅指揮者として、オーディションにより、我が国指揮界のホープ吉田行地氏を専属指揮者に迎え、内外の一流アーティストとの共演を予定している。また、小中学校巡回演奏・企業各種団体の冠コンサート、オペラ、バレエ分野にも本格的に取り組んでおり、魅力あふれるオーケストラとして活動。

●キャスト

11日[土]

12日[日]

おもん(s)	盛 かおる	藤本 圭子
八兵衛(Br)	川口 豊	滝沢 博
権太(A)	廣田 昌代	山田 紗子
源太(s)	五十君 紗子	竹内 久恵
奈々(s)	東 えり	加藤 恵利子
おもんの母(Ms)	近藤 真理子	美口 啓子
大谷六郎宗晴(T)	鎧木 勇樹	神田 豊壽
清水仁左衛門(Br)	中野 嘉章	松下 雅人
寅吉(Br)	奥村 成史	飯田 源太
藤之助(T)	星出 輝隆	(両日)
卯三郎(Br)	橋本 泰介	(両日)
本家のお婆(A)	加藤 愛	吉川 友吏江
ぬい(s)	松井 紀衣	(両日)
くめ(s)	山口 美帆	(両日)
都の女1	吉川 友吏江	是竹 久実
都の女2	小林 弘美	(両日)
都の男	飯田 源太	稻熊 裕之

●合唱

名古屋オペラ協会員(女声)

ソプラノ	小林 弘美 / 松井 紀衣 / 中村 友子 / 川北 ゆき枝 / 寺西 里子 / 吉住 真希 陸田 恵子
アルト	吉川 友吏江 / 山口 美帆 / 松本 朋子 / 是竹 久実 / 鈴木 香里 / 安藤 寿江 加藤 愛 / 中島 奈美 / 柳島 咲子

グランフォニック(男声)

テノール	三ツ松 平 / 林 功 / 鹿住 誠 / 佐々木 正義 / 池田 研一 / 石井 清
バリトン	細江 太喜雄 / 弘瀬 嘉夫 / 中村 嘉夫 / 寺島 正晃 / 黒田 泰男
バス	松原 成憲 / 古田 和則 / 藤山 祐司 / 井ノ口 貴敏 / 稲熊 裕之 / 浅田 宏

●客演

劇団うりんこ	成瀬 勝洋 / 原田 邦英 / 木下 宏明 / 島崎 薫
演劇人冒險舎	伊藤 順一
アクションクラブ	杉本 明朗
関山三喜夫舞踊団	竹内 稔 / 水口 千里 / 高橋 亜紀子

●管弦楽

小牧市交響楽団

名古屋オペラ協会

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通り5-16
TEL・FAX 052-851-2089



日本歌劇文化振興会
舞台芸術振興事業
三善信託芸術文化財团

名古屋オペラ協会 日本オペラシリーズNo.22

作: 小田健也

作曲: 池辺晋一郎

オペラ 「ゆかの守唄」

「心におもうことは夢やな」

南之郷の多いのゆ
港戸内の平和な夜に響く
細雨な少女のほんの生命の詩」

指揮: 池辺晋一郎

演出: 小田健也

振 舞: 関山三喜夫

装 着: 阿島茂夫

内山千吉

照 明: 石原裕輔

衣 裳: 中村恵子

音 集: 四方あさみ

演出助手: 稲内 霧

宣伝美術: 楊 勉

舞台監督: 関島透宣

副指揮: 山上純司

倉知竜也

合唱指導: 木友博信

統括: 伊藤晶子

2004年12月11日[土]18:30開演18:00開場 12日[日]14:00開演13:30開場
名古屋市民会館 大ホール

入場料: 指定席SS ¥8,000・S ¥7,000・A ¥6,000・B ¥5,000・自由席C ¥4,000

入場券販売: チケットぴあ TEL0570-02-9999

主催: 名古屋オペラ協会

協力: ひろしまオペラ推進委員会

後援: 愛知県教育委員会 / 名古屋市教育委員会

問合先: 名古屋オペラ協会事務局 TEL&FAX052-761-7074 後久間

名古屋オペラ協会

OPERA DU GONG'S LULLABY